

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	66	事業名	治山事業費(起債事業)		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	治山事業費		中事項	起債事業		部課名	農林水産部農林整備課
事業開始年度	平成 19 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等()		電話番号	21-3346	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 本市東部4支所地域では、平坦地が少なく急峻な山地に沿って集落が形成されており、台風などによる集中豪雨時の土砂災害(山崩れ・土石流・地滑り)を未然に防止し、もって地域住民の生活環境を保全することを目的とする。</p> <p>【必要性】 危険箇所の事業実施により、国土を保全するとともに、地域住民の生活と財産を保全する必要がある。</p>
内容	北海道が実施する公共治山事業の採択基準に合致しない災害危険区域では、市が小規模治山事業を実施する必要があり、そのうち北海道の補助制度を活用できない事業箇所については、市の単独事業として実施している。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		5,429	6,902	7,000	7,647	7,800	0
特定財源	国・道						
	市債	5,400	6,900	7,000	7,600	7,800	
	その他						
一般財源		29	2		47		
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.39 2,928	人工 0.39 2,815	人工 0.39 2,843	人工 0.39 2,843	人工 0.39 2,930	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	人件費(B)	2,928	2,815	2,843	2,843	2,930	0
総事業費計(A+B)		8,357	9,717	9,843	10,490	10,730	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
治山施設整備工事	箇所	2	2	2	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	災害を未然に防ぐことを目的としており、定量的な評価指標はない
------	--------------------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	山地災害を未然に防止し、あるいは最小限に食い止めることにより、市民の生命と財産の保全が図られている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	当該事業は森林法上の治山事業ではないものの、森林の維持・造成を通じ、山地災害から市民の生活と財産を保全するために必要な事業である。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	当該事業は、最小の経費で最も効率的な工法を採用し実施しており、コストの節減を図っているが、昨今の資材費や労務費の高騰などによりコストの増加が見込まれる。なお、当該事業の実施による受益者の負担はない。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	毎年度緊急度を勘案しながら危険箇所の整備を実施している。		受益者負担の適正度	評価対象外	
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	すでに実施		
				実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	現地の測量や確認による工法の選定および設計は既に委託している。	
評価結果から明らかになった課題事項など							

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 事業の実施にあたっては、最小の経費で最も効果が得られる工法を選択している。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--